

この先のミライ

東部中学校3年 中川葉月

みなさんは3月8日が何の日か知っていますか。3月8日は「国際女性デー」、これは女性の差別をなくしていくことを目的に国際連合によって決められました。私たちの近くに「料理は女性がやるもの」や「仕事は男性がやること」だと決めつけている人はいませんか。男性で料理がうまい人もいるのに、と私は思います。

差別の中には性別によって損益が生まれることだってあります。人が生まれるとき男性であることも女性であることも選んで生まれてきません。私も気づいたときにはもう女性として生まれてきていました。たとえば女の子が黒いランドセルを使っていたり、男の子が人形遊びが好きでもそれはその人の個性であって何もおかしくありません。このように体が「男だから」「女だから」というだけで社会的なイメージや役割分担を押しつけられ、好きなものや得意なことを制限されている社会のことをおかしいと思える考え方を持つことが人への偏見や差別、不平等をなくすのにつながっていくのだと私は思います。

みなさんは郊外のトイレを利用するときに赤ちゃんのおむつ交換台を見たことがありますか。日本ではあまり見たことがないかもしれませんが、実際にニューヨークでは女性用トイレとともに男性用トイレにもおむつ交換台の設置がされています。

職場での男女差別や無意識に持っている「こうしなければいけない」といったイメージによって生きづらさを感じる人がいますが、社会や文化が作り出してしまった性差は、男女ともに考えていかななくてはならないと思います。